造園いばらき

題字:橋本 昌 茨城県知事



「茨城空港」のオープニングセレモニーは、開港日の3月11日、盛大に行われた

おもな内容

生物多様性保全と造園業 生物多様性条約第10回締約国会議 (COP10) に向けて	•••	2
偕楽園公園で3つの花壇づくり行う 「偕楽園公園 花づくりパートナー」に参画	• • •	3
環境革命の時代と造園建設業 茨造協県北支部青年部会が涌井雅之氏を迎え、造園 CPD 講習会を開	催 •••	5
街路樹の良好な維持管理に対応 平成21年度街路樹剪定士研修会・試験を開催	•••	7
県北支部で社会還元事業を実施 介護老人保健施設で草花植栽や芝刈、剪定を実施	•••	9
永島氏茨城県功労者表彰祝賀会、堀江氏茨城県都市緑化功労者表彰式開脩	≝'	10
「茨城空港」がオープン 空の玄関口を印象付ける「空港公園」も平成 25 年度完成に向け整備推進	<u>É</u> … '	12
県の建設工事における電子入札が全面導入へ	1	15



炒 社団法人 茨城県造園建設業協会

〒 310-0804 水戸市白梅 2-4-6 Tel.029-226-5691 Fax.029-226-5692 E-mail ibazouky@topaz.ocn.ne.jp Http://www.ibarakiken.or.jp/ibazoukyo/

生物多様性保全と造園業

生物多様性条約第 10 回締約国会議(COP10) に向けて

生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が今年10月、愛知県名古屋市で開催される。

生物多様性条約締約国会議は、概ね2年に1回開催されており、COP10では、世界から192の国と地域が集まり、2002年の第6回締約国会議で採択された「2010年までに生物多様性の損失速度を顕著に減少させる」という『2010年目標』の達成状況の評価と、その後の目標設定や、条約戦略計画の改定など、生物多様性条約に関する今後の方向性を決めることや、国際的なルールづくりについて議論される予定だ。

捉えにくい生物多様性の適切な評価が大切

また、今年は、国連の「生物多様性年」ともなっており、「生物多様性」が広くマスコミなどに取り上げられ、関心が高まりつつある。しかし、生物多様性をどう捉え、対応したらいいか分からないとの声も多い。

生物多様性条約が掲げる目標は、①生物多様性の保全、②生物多様性の構成要素の持続可能な利用、③遺伝資源の利用から生じた利益の公正かつ衡平な配分とされている。当初は、純粋に生物多様性の保全が主に掲げられていたとされるが、経済的側面からの力が働き、遺伝資源へのアクセスと利益配分といった各国や企業の利権に直接結び付く問題が大きくなり、国際間の会議においては、これらの課題解決がポイントの一つとされている。

生物多様性は、経済性以前に重要な問題といえるが、 すでに、温暖化の防止において、温室効果ガスの排出 を抑制するといった考え方から飛躍し、「排出権取引」 が大きな経済市場を形成している。

これについては、造園業も深く関係している森づくりで、温室効果ガスの吸収源として認められるか否かの認証により、経済的な価値が付与されたり、されなかったりするなど、決して温室効果ガスの吸収源としての機能だけでなく、地下水の保全に役立ち、人々の自然との触れ合いの場、里山などとしての活用が図られている森であっても、多様な機能の経済的、数値的評価が難しいことから、数値化できる一義的な側面でその価値が計られてしまうこともある。

今後本格化する生物多様性を踏まえた環境保全・創出においては、遺伝資源などといった一つの側面だけに注視し、それに重きを置いた片寄った評価にならないよう私たちから積極的に働きかける必要がある。

生物多様性の具体的事業はこれから

生物多様性に関する具体的な事業はこれからだ。国際間の難しい話はさておき、生物多様性の具体的な内容の実施は、各国が実施することになっており、日本は、今年3月16日に閣議決定されたばかりの「生物多様性国家戦略 2010」がその指針となる。

これによると、短期目標として、生物多様性の損失を止めるために 2020 年までに「生物多様性の状況の分析・把握、保全活動の拡大、維持・回復」、「生物多様性を減少させない方法の構築、持続可能な利用」、「生物多様性の社会における主流化、新たな活動の実践」を掲げている。

保全活動の拡大、維持・回復は、造園の技術が発揮できる場であり、状況の把握や分析についても、指定管理者として実際のフィールドを管理運営している造園が取り組める分野といえ、生物多様性を減少させない方法や新たな活動の実践も私たちが今後、取り組める分野といえそうだ。

生物多様性は、多様な種、生態系、遺伝子が互いに 関係して保たれており、未だ名前も付けられていない 土壌の中の菌類なども含まれるが、私たちの理解が及 ぶ中で、多くの生き物が生息する基盤となるのは、"緑" である。生物多様性のベースは、造園がこれまで主と して取り扱ってきた土や植物なのである。

すでに、自然再生や近自然など、多自然型の事業において、造園の知識や技術が活かされており、今後、こうした技術や知識をより多くの場面で活かすことができるはずだ。

都市公園事業においても、生物多様性に配慮した具体的な取り組みが行われつつある。こうした動きの中で、造園としての生物多様性対策をいち早く検討し、造園の技術・知識、そしてその存在をアピールし、これから本格化する事業に積極的に対応していきたい。

偕楽園公園で3つの花壇づくり行う

「偕樂園公園 花づくりパートナー」に参画

茨城県が実施する「偕楽園公園 花づくりパートナー」に、茨造協と茨造協県北支部、水戸市造園建設協力会が共同で申込み、70㎡、100㎡、38㎡の3つの花壇、合わせて208㎡の管理を平成22年2月1日から平成22年4月30日まで行った。



関係団体代表による記念撮影

植え付けの前日には、ひたちなか市造園組合の協力で2㎡の堆肥を準備。植え付け作業は、茨造協と茨造協県北支部が、パンジー8種、4,867ポットを用意。水戸市造園建設協力会の会員25社が参加し、2月5日にボランティア作業を実施した。



参加したスタッフ一同

偕楽園公園 花づくりパートナーの募集について

茨城県は、"偕楽園公園を花で彩ってみませんか"と、市民や民間団体と協働で花づくりを行い、偕楽園公園の魅力を高めていくことを目的に、花壇・花畑の維持管理活動を行う「偕楽園公園花づくりパートナー」を募集している(詳しくは、県営都市公園オフィシャルホームページ http://www.koen.pref.ibaraki.jp/)。

募集については、期限を決めずに随時募集。対象となる区域は、偕楽園拡張部(四季の原、田鶴鳴梅林などの園路脇)で、場所や区画については、先着順となっている。

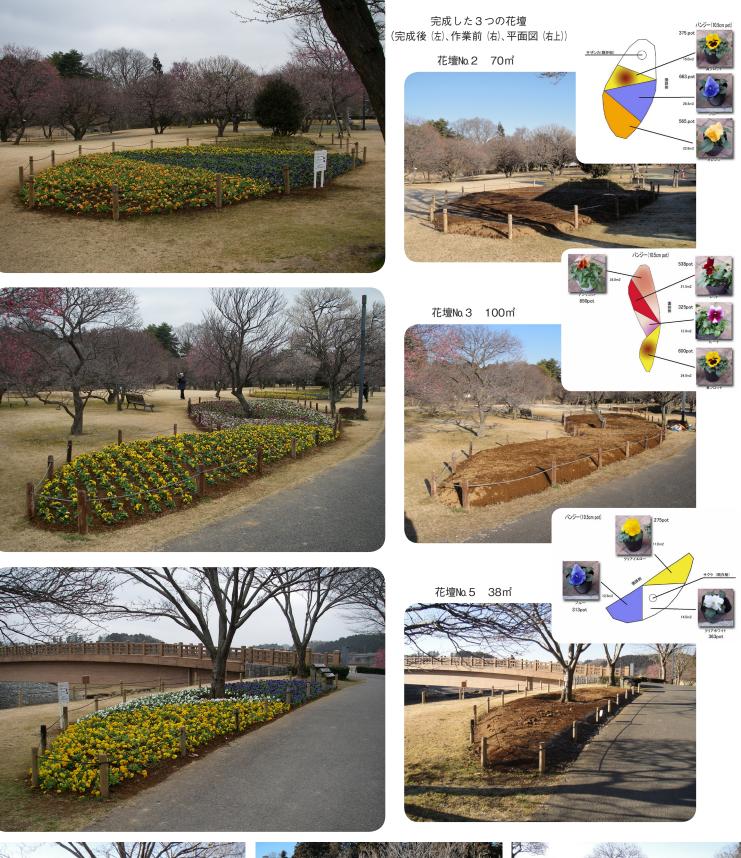
パートナーが実施する内容は、草花(花苗・花種)の用意と、花壇・花畑の管理(花苗の植栽、播種、清掃、除草、施肥、散水、枯花草の除却等管理に必要な活動)の大きく2つ。

県(公園管理者)からの支援内容は、花壇・花畑への客土および整地と、偕楽園公園花畑パートナーの名称、植栽草花名等を記載した表示板の設置、活動に必要な用具等の貸与となっている。

申込方法は、ホームページまたは申込み窓口で入手できる募集要項の様式1に、花畑(花壇)づくりのイメージ、希望する管理面積、希望する管理期間などの必要事項を記入のうえ、申込み。

なお、花畑で栽培できるのは、観賞を目的とした植物が原則。そのほか、管理はできないが、花苗や花種を寄贈したいという方や花苗、花種は用意できないが、花畑(花壇)を管理したい方や団体の窓口での相談も可能となっている。

申込み窓口は、偕楽園公園センター(水戸土木事務所偕楽園公園課) ☎ 029-244-5454、fax029-244-5866。









「偕楽園公園 花づくり」に取り組むボランティアの方々



茨造協県北支部青年部会の企画で、2月24日に涌 井雅之氏をお迎えし、「環境革命の時代と造園建設業」 の講演を茨城県立歴史館講堂にて行った。

講演会は茨城県土木部公園街路課、茨造協、茨造協 県北支部、茨城県造園技能士会、水戸市造園事業協同 組合、ひたちなか市造園事業協同組合、NPO法人日 本ビオトープ協会関東支部が後援し、遠く、名古屋・ 福島県からも参加者が訪れた。

また、今回は、他日本造園学会の造園 CPD (継続教育) 認定プログラムとして申請し、3単位が取得できる講習会となった。



涌井雅之氏プロフィール

造園家、桐蔭横浜大学生命環境工学研究機構理事・機構長・教授。1945年生まれ。多摩田園都市、ハウステンボス、全日空万座ビーチホテルのランドスケープ計画・デザインなど数多くの作品に携わる。現在は、2005年日本国際博覧会「愛・地球博」会場演出総合プロデューサーや(社国際観光施設協会副会長をはじめとする国、自治体、法人の委員を務める一方、TBS系「サンデーモーニング」にレギュラー出演するなど、その幅広い視野を持った思想からコメンテーターとしても活躍されている。

涌井雅之氏は、造園家でありながら桐蔭横浜大学医 用工学部特任教授や TV のコメンテータまで活動の 範囲が広く、愛知県で行われた「愛・地球博」の会場 演出総合プロデューサー、開通したばかりの「首都高 山手トンネル」における「大橋グリーンジャンクショ ン」のプロジェクトにも参加している。

涌井氏は「行政や地域を巻き込んで、"風"を起こさなくてはいけない。この不況の時代、先細りの公共事業をただ待って受注するだけでは、造園業界全体が衰退の一途を辿るだけ。人工構造物に覆われた今の街並みの中で、自然と人とのつながりを改めて見直し、将来像を描きながら地域全体の活性化を図ることが重要。その時に必要とされるのが我々造園家ではないか」と主張した。

講演では、ご自身がかかわられてきた各地の実例も紹介。このうち、百年後の仙台を見据えた「百年の杜」推進計画は、仙台市全域、山脈から海岸までを見通した上で、野外広告物や建築物の高さ、風の道、市全体をトータル的に捉え、将来を見据えて美しい景観の維持・構築をしていくもの。

東京駅周辺再開発「東京ステーションルネッサンス」は、都市のヒートアイランド減少を緩和する計画。これまで「壁」となっていた駅ビルを撤去し、八重洲通りから東京駅、そして皇居方面の見通しを良くして風の道を構築し、丸の内から皇居に向けて海風を通し冷却効果を狙う。無くなった駅ビルの変わりに建築面積の小さい高層ビルを駅の両サイドに建設、スリム化に伴い床面積の増加並びに地面の開放を行う。

高速道路開通に伴うジャンクション計画では、緑あ ふれる街づくりの一環として、壁面緑化や屋上公園を つくり、CO2・騒音・ヒートアイランド対策等、周辺 環境に配慮した「大橋グリーンジャンクション」の事 例を示した。

涌井氏は、「植物が生長するという、時間へのチャ レンジが造園家の特色。 景観 10年、風景 100年、風 土1000年。景観・風景・風土はこのぐらいのスパン で考えていき、それぞれの関係性を読み取っていくこ とが必要。自分たちが持っている地域遺伝子(今ま で受け継がれてきた地域の特徴、その地域らしさ)を しっかり理解することが必要であり、またそれを後世 に引き継ぐ事も重要」と訴える。

涌井氏の講話は、街全体を巻き込んだ膨大な改革に 造園家として何が出来るか?と問いかけているように 聞こえる。我々個々の活動では話が大き過ぎるようだ が、何もしなければ何も変わらない。それどころか街 や業界全体が衰退していくだけだ。

協会全体で「風」(アクション)を起こし、行政や 地域を巻き込み街の活性化と景観づくりを提案・活動 を行って、「仕事」(プロジェクト)をつくりあげるこ とこそが、この不況を乗り越えるひとつの方法と痛感 した。



都市空間が高温化する要因



会場からの質疑も活発に行われた

<参考> 仙台景観計画案の紹介記事

仙台市は10月に発表した街並みづくりの指針「杜の都景観計画案」で、市中心部の建築物に高さの数値基準を初めて示した。15日から各 区で市民説明会を開いたが、建築関係者の関心は高さなどの規制項目に集中した。市は「高さ基準は景観づくりの手段で、そればかり注目さ れるのは趣旨とずれる」と困惑気味だ。

<重点に4区域>

高さ基準を設けた範囲は、景観重点区域と位置付けた旧城下町地域(約2200ha)。上限とした80mは、仙台城跡(標高120m)から標高 40m 前後の市街地を見渡し、遠望が遮られない高さとして決まった。

景観重点区域は「広瀬川周辺」「青葉山・大年寺山」「北山・宮町界隈(かいわい)」「都心ビジネス」の4区域=図=。建築物の高さは、広 瀬川周辺が 30-50m、青葉山・大年寺山が 30m、北山・宮町界隈が 30-60m、都心ビジネスが 30-80m とし、1割程度の誤差は容認する。

今後、80m以上の建築物が立地できるのは、基本的に都心ビジネス区域の仙台駅周辺の約170haだけで、一定規模の緑化と空き地確保が 条件となる。

仙台市はこれまで、容積率や北側敷地の日照などで高さを制限してきた。しかし、敷地面積が広ければ「高さが青天井になる」(市都市景観課) ことから、絶対的な規制にならなかった。そのため、広瀬川沿いや市中心部での高層マンションの乱立に歯止めをかけられなかった。

<広告物も規制>

高さ基準の設定が初めての取り組みということもあり、専門家らの関心は高い。石川清紀・仙台商工会議所不動産部会長は「数値を厳格化 せず『おおむね』としたことで、行政との交渉の余地を残した」と評価し、新たな開発行為には大きな支障は出ないとみる。

住宅系地域の高さ基準を10階建てマンションに相当する約30mに設定した点について、市景観審議会の大村虔一会長は「『30mまでな ら造っても大丈夫』と解釈され、マンションが次々に建ったら環境的に問題だ」と課題を指摘する。

17日に市シルバーセンター(青葉区)であった市民説明会では、規制の適用時期や審査の実施主体といった高さ基準への質問が相次いだ。 仙台市は計画案に、屋外広告物の規制や建物の壁面の色彩基準なども盛り込んだ。年度内に計画を固め、2009年夏にも景観条例を改正す る考えだが「高さ基準の数値や規制ばかりに関心が集中するのは本意ではない」と、市民の反応との隔たりに頭を悩ませる。

市景観審議会委員の涌井史郎・桐蔭横浜大特任教授(造園学)は「景観計画案は仙台の歴史を生かし、今後の発展につなげるための道具。 子どもや孫の世代にどのような街を残したいのか、自分たちの問題として考えてもらいたい」と呼び掛けている。

街路樹の良好な維持管理に対応

平成 21 年度 街路樹剪定士研修会・試験を開催





実技についての説明を行う講師と熱心に聴く受講者

平成21年度街路樹剪定士研修会が1月28日(木)、29日(金に行われた。

研修会は、他日本造園建設業協会が実施する資格制度である「街路樹剪定士」に基づくもので、初日は水戸市白梅の造園会館で座学を行い、2日目はつくば市内で実技を行った。

今回の研修会は、①造園技能士2級以上(2級の場合は取得後2年以上の剪定業務経験が必要)または② 樹木の植栽工事または剪定業務に直接従事した実務経験の合計年数が7年以上の方々を対象に実施したもの。



今回の受検者で紅一点となった椎名麻子さん(㈱水庭農園)

街路術については、都市環境に対する役割への理解が広がり、景観への配慮などから、市民の関心も高まり、その良好な維持管理が求められている。

「街路樹剪定士」は、街路樹の機能と効果を熟知し、 美的感覚を持った街路景観の創出・維持に寄与するも ので、資格創設から11年を過ぎ、これまでに全国で 9,000名が認定され、最近は各地の発注要件として取 り上げられるなど、発注者の認知度が向上するととも に、資格者への期待と責任が高まる中、さらなる街路 樹剪定士の活躍が必要となっている。

今回行われた研修は、『街路樹剪定ハンドブック』(社) 日本造園建設業協会発行)、『造園工事業の安全作業手順No.1街路樹管理編』(建設業労働災害防止協会)、『危険・予知・訓練(KYT)シート集(造園工事編)』(建設業労働災害防止協会)をテキストに使用した。

なお、研修会・試験には、講師として、川上一夫氏 (株)川上農場)、堀江豊氏(株)下館造園)、中村澄夫氏(株) 千本杉)、井坂秀夫氏(土浦造園株)、田中資康氏(株) タナカ築庭)、飛田幸男氏(株)植幸)6氏。支部役員 から、宮本和雄氏(茨城県県南造園土木(業))、橋本 純一氏(橋本造園土木(株)、松本文巳氏(株)芝良)、稲 見洋二氏(不二造園土木(株))、柴崎茂雄氏(つくば都 市緑化㈱)、張替久氏 (緑化植産㈱) が参加。実技の 主任判定員を、(社)日本造園建設業協会千葉県支部の秋

葉精一氏(総和造園土木㈱)が担当し、19名が受検 した。







実技においては2種 類の樹木について剪 定を行った。 上下とも左から、剪 定前、剪定作業中、 剪定後のようす











左から剪定前、剪定作業中、剪定後の街路樹。整った街路景観となっている





今回の社会貢献事業では、花壇づくりも行われた

平成21年度の紐茨城県造園建設業協会の社会還元 事業は3月24日(水)、水戸市河和田町の介護老人保健 施設「ナーシングホームかたくり」を対象に実施した。





当日は、小雨の降る中、参加した茨造協のボランティアが、施設植栽の剪定や花壇づくりを行った。

社会還元事業は、造園建設業の啓発、広報を目的として、社会福祉施設等の植栽・立木にかかわる剪定などをボランティアで行い、環境管理に寄与しているもの。茨造協創立30周年を記念して、平成14年から始められ、以後、継続事業として毎年行われている。

今回は、猪瀬清次県北支部長を中心に、22社が参加・協力し、草花植栽、芝刈、耕耘、剪定を行い、施設の職員や利用者の方々に大変喜んでいただいた。







作業風景



多年にわたる緑化推進、組織の健全運営に貢献

平成21年度茨城県功績者表彰は、昨年11月13日に茨城県庁で表彰式が行われ、茨造協から永島生雄氏(70歳、茨造協元会長、㈱石翠園代表取締役社長)が、多年にわたり、緑化意識の啓蒙啓発や緑化技術の向上に尽力するとともに、会の役員として組織の強化と健全運営に貢献したとして表彰された。

これを祝した永島生雄氏茨城県功績者表彰受賞祝賀会は2月19日、水戸市の水戸京成ホテルで行われ、 多数の関係者が集まり、永島氏の受賞を祝った。 祝賀会では、飛田賢一副会長の開式の後、廣瀬一三 会長がお祝いの言葉を述べ、永島生雄ご夫妻に花束を 贈呈した。

その後、永島生雄氏から、広く関係者へのこれまでの感謝や今後の抱負などが語られ、猪瀬清次副会長が乾杯を発声、祝宴となり、多忙な中、会場に駆けつけた橋本昌茨城県知事も永島氏への祝辞を述べ、さらなる活躍を期待しているとの旨を語った。







賞状堡

廣瀬一三会長から花束を受け取る永島ご夫妻⑪

祝辞を述べる橋本昌茨城県知事街

都市緑化祭への積極的参加など貢献

堀江豊氏が平成 21 年度茨城県都市緑化功労者表彰を受賞

平成21年度茨城県都市緑化功労者表彰式が3月24日、茨城県開発公社ビルで行われ、茨造協からは、堀 江豊氏(㈱下館造園)が表彰された。

茨城県都市緑化功労者は、長年にわたり、都市緑化の推進や都市公園の美化等に尽力している個人または団体の方々に感謝の意を表するとともに、県民主体の都市緑化活動を支援していくため、平成15年度から実施しているもの。

平成21年度は、個人1名、2団体に、茨城県土木部の栗田則夫理事兼次長から、感謝状か贈呈された。

表彰式は、感謝状の贈呈の後、祝辞と謝辞が述べら れた。

堀江豊氏は、茨造協推薦・個人の部で受賞。昭和 52年から32年間造園業に携わり、長年、社団法人茨



賞状を授与される堀江氏



賞状を手にして記念撮影

城県造園建設業協会の役員を務め、都市緑化祭に積極的に参加されるなど、都市緑化の推進に貢献したことが評価された。

なお、団体では、豊浦学区まちづくり推進会(日立

市推薦)が十王駅入口の国道 交差点付近を両側 200 mにわ たり 13 カ所の花壇づくり、美 化活動を行い都市緑化の推進 に貢献。フラワーネットつち 浦市推薦)が土浦駅東口ほか 6 カ所の公園等で花壇づくり、都 青緑化の推進に貢献している ことが、それぞれ評価された。



受賞者らで記念撮影

空の玄関口を印象付ける「空港公園」も平成25年度完成に向け整備推進

「茨城空港」がオープン



空港ターミナル 正面

茨城空港(茨城県小美玉市)が3月11日に開港した。 開港初日は、好天に恵まれ、多くの見学客が訪れて賑 わった。

午前8時からは、オープニングセレモニーが開かれ、成田や羽田より3割以上安いとされる着陸料を踏まえ、橋本昌茨城県知事は、茨城空港はLCC(格安航空会社)に対応する日本唯一の空港であり、大きく育てていきたいとした。

茨城空港は、航空自衛隊百里基地を民間共用化する 国が設置・管理する空港で、国土交通省が事業主体と なっており、開港後の維持管理は、新滑走路などは防 衛省、民航ターミナル地区は国土交通省が行うことと なっている。

また、国が新規空港建設を抑制していることから、 国内最後の空港とも言われ、開港に合わせての就航が 懸念されたが、アシアナ航空の茨城〜ソウル(仁川)、 スカイマークの茨城〜神戸の週7便の定期便をはじ め、上海、台湾、セブ、グアムなどのチャータ便も運 行されており、魅力的な価格や便利さで、予想以上の 好評で、今後のさらなる展開が期待されている。

なお、茨城県の空の玄関口を印象付けるシンボリックなエントランスエリア、県民をはじめ多くの人々が集い憩う交流空間として、空港公園の整備が行われており、開港に併せて一部開園し、今後平成25年度までに19.3haについて、梅林などの茨城県を代表する修景を配し、航空機の離発着を眺めながら、お弁当を食べたり遊んだりできる展望広場や多目的広場などを整備。さらに、災害時には、広域防災拠点として機能するなど、さまざまな利用に対応した公園として整備される予定となっている。











茨城空港ではアシアナ航空とスカイマークが定期便として就航している。写真は左からターミナル概観、内観、タラップ

平成21年度より指定管理者へ

(心より皆様のお越しをお待ちしております。)

茨城県 奥久慈憩いの森 (21年度~ 再指定)













※平成18~20年度 奥久慈憩いの森 モリモリフェスタの模様

奥久慈憩いの森 管理事務所 大子町大字高柴4164-3 電話 0295-76-0002 http://www5.ocn.ne.jp/~ikoimori E-mail ikoinomori@cello.ocn.ne.jp

茨城県 大洗公園 (21年度~ 指定)













大洗公園事務所 大洗町磯浜町8249 電話 029-219-5970 E-mail oarai-kouen@honey.ocn.ne.jp



茨 城 県 造 園 業 協 同 組 合

理事長 飛田賢一 副理事長 川上一夫 庄司憲生 専務理事 稲見洋二 ほか 組合員一同

事務局 水戸市白梅2-4-6 電話029-302-7900 FAX 029-302-7901 E-mail ibazoukumi@honey.ocn.ne.jp

みどりと潤いのある地域社会実現へ

平成 22 年度 新春賀詞交歓会を開催 会員一丸となった取り組みを推進



賀詞交歓会の冒頭あいさつする廣瀬一三会長

他茨城県造園建設業協会は1月20日、茨城県水戸市のホテルテラスザガーデン水戸で、新春賀詞交歓会を開催した。

交歓会は、川上一夫副会長の開会の辞の後、廣瀬 一三会長があいさつ。

「昨年は技能五輪が茨城県で開催され、造園競技においても、茨城県の出場選手はもとより、皆様のご支援で、入賞をはじめ、素晴らしい成果を残すことができた。本日は、お忙しい中、多数の関係者の方々にお越しいただいた。本年もこれまで以上に、みどりと潤いのある地域社会の実現のため、会員一丸となって取り組んでいく」と述べた。

来賓からは、山口武平自由民主党茨城県支部連合会最高顧問が、「深刻な社会情勢となっている。景気回復には公共事業が効果的であることは、どこの国においても同じだが、補正予算の凍結をはじめ、厳しい状況になっている。社会基盤への投資ではなく、個人に予算を配分することも国としてどうなのか、疑問がある。地球規模での環境問題がより大きな課題となる中、緑化はますます重要であり、皆さんの活性化が地域を

家庭を豊かにし、国や地球環境を支えていくことになる」 との旨を述べた。

梶山弘志衆議院議員は、「もっとも重要な景気回復だが、一口に景気といっても産業によって異なる。エコ製品、エコカーなどの個人消費が期待されているが、まだまだコンクリートや鉄が必要な地域もある。マニフェストが守られるのかどうかが注目される。いろ

いろな問題が見えはじめ、皆さんが振り返ったときに、 私たちは確かな自民党として皆さんの生活を守ってい きたい」と述べた。

丹羽雄哉前衆議院議員は、「新年度の公共事業費は、過去最大の減少となるマイナス 18%で、みどり豊かな地域づくりに欠かせない事業を考えると、相反するものとなっている。連日の報道で疑惑が取り立たされ、国民目線というより、国民から遠く離れたものになっている。21世紀は、環境の世紀、緑の世紀といわれており、その通りだと思っている。これまで以上に皆様の活躍の場を広げていかなければならない」と述べた。

また、葉梨信行元衆議院議員は、「皆さんのご期待に添えなかったが、4年間はあっという間で、すでに10分の1が過ぎた。景気回復をはじめ、環境対策等いろいろな問題が山積している。皆さんの期待に応えられるよう今後とも頑張っていきたい」と述べた。

その後、乾杯を猪瀬清次副会長が発声、祝宴となり、 懇談の後、飛田賢一副会長の閉会の辞で、散会となっ た。

県の建設工事における電子入札が全面導入へ

茨城県は、これまで予定価格 1,000 万円以上の工事及び 100 万 円を超える業務委託を対象に実施していた電子入札について、 成22年度以降は、さらに対象を拡大し、随意契約を除くすべての 案件について、電子入札の対象とすることを決め、紐茨城県造園 建設業協会をはじめ、関係団体宛に理解と協力を求めている。

茨城県はこれまで、公共工事の入札における透明性の確保や競 争性の向上、入札参加者における建設コスト縮減などを効率的に 促進することを目的として、茨城県建設 CALS / EC アクション プログラム (平成14年3月策定) に基づき、平成15年度から電 子入札の導入を段階的に進めてきた。

今回の全面導入に当たっては、平成22年度中は、入札参加者の 環境整備や技術習得のための準備期間として紙入札を認めること としており、平成23年度から、真にやむを得ない事由以外での紙 入札を認めない(電子入札運用基準7-1例示参照)こととして いる。

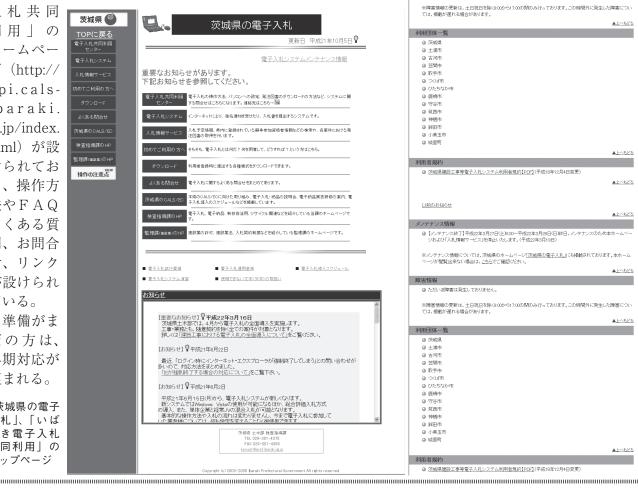
茨城県の電子入札システムについては、「茨城県電子入札シス テム案内ホームページ」(http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/ doboku/01class/class03/ebid/index.html) が設けられており、電 子入札共同利用センター、電子入札システム、入札情報サービス、 初めてご利用の方へ、ダウンロード、よくある問合せ、茨城県の CALS/EC、検査指導課のHP、監理課(建設業)のHPといっ たメニューが用意されている。

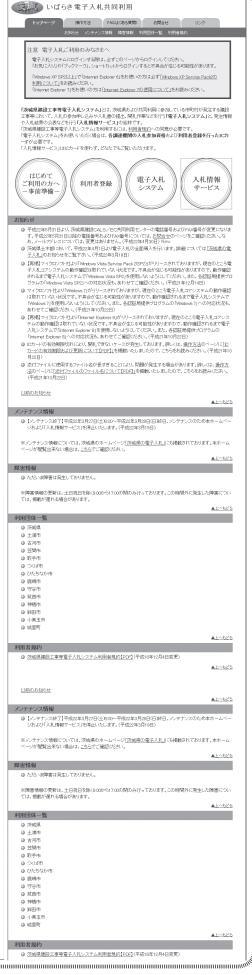
また、いばらき電子入札共同利用については、「いばらき電子

入札共同 利用しの ホームペー ジ(http:// ppi.calsibaraki. lg.jp/index. html) が設 けられてお り、操作方 法やFAQ よくある質 問、お問合 せ、リンク が設けられ

ている。 準備がま だの方は、 早期対応が 望まれる。

「茨城県の電子 入札」、「いば らき電子入札 共同利用」の トップページ





社 団 法 人 茨 城 県 造 園 建 設 業 協 会 会 員 名 簿

ノロルナがく	十如 医 ※ 海 注海		/≠/蒸布/华国 ↓ · ナ	₩極士左四郊 2022	0.470 40 0.400
	支部長 猪瀬 清次 水戸市渡里町 2526	020 225 0067	(制藤和造園土木 (株)富山園建設	神栖市矢田部 3332 鹿嶋市大船津 2223	0479-48-0468 0299-82-0516
1	ひたちなか市馬渡 1285-5	029-225-0067 029-272-1334	常陸緑化土木㈱	鹿嶋市大字須賀 442	0299-82-4128
	笠間市福原字トウガ峰 800-3	0296-74-4468	日比谷殖産㈱	鹿嶋市武井釜 793-1	0299-69-1762
	水戸市栗崎町 1682	029-240-5008	(株)ミドリヤ	鉾田市大蔵 233-5	0291-39-6088
	水戸市常磐町 1-1-40	029-224-8766	山中造園土木(株)	神栖市筒井 1373-1	0299-92-0251
	ひたちなか市中根 5072	029-273-6013	豊造園(株)	神栖市筒井 1213	0299-92-2566
	水戸市上国井町 1594	029-239-6322	㈱和鹿松園建設	神栖市太田 456-15	0479-46-0033
	笠間市鯉渕 6241-42	0296-77-3021	<県南支部>	支部長 宮本 和雄	
(株)神永造園	ひたちなか市足崎 1287	029-285-0246	(前)荒井緑化土木	つくば市篠崎 231-1	029-864-0825
㈱鴨志田造園建設	水戸市青柳町 3814-2	029-225-6052	(株)飯塚農園土木	つくば市上里 390	029-847-0662
侑川﨑造園	ひたちなか市田彦 632-1	029-272-0571	㈱市川造園建設	つくば市今鹿島 103	029-847-2554
環境保全事業㈱	那珂郡東海村村松 1033-1	029-282-8855	茨城県県南造園土木 (業)	土浦市田中 3-2-1	029-822-3771
興和緑地建設(株)	水戸市白梅 1-3-23 興和ビル	029-225-6187	㈱茨城光松園	取手市桑原 597	0297-73-2231
㈱小澤造園	水戸市上水戸 1-4-38	029-224-7733	(株)浮間興業	つくば市片田 343	029-837-1603(代)
㈱小林造園	水戸市小吹町 2054-2	029-241-7587	オガ建設(株)	土浦市乙戸南 3-8-13	029-830-4300
(有)小林農園	日立市折笠町 719	0294-43-5193	(株)オキヤマ	つくば市要 109	029-864-0444
	小美玉市小岩戸 334	0299-48-3030	㈱貝沢造園土木	つくば市谷田部 3524-2	029-837-0222
	東茨城郡城里町小勝 718-2	0296-70-6061	㈱川上農場	つくばみらい市小張 4041	0297-58-6518
	ひたちなか市西大島 1-1-30	029-273-2756	菊地植木建設(株)	取手市桑原 1104	0297-73-3241
	ひたちなか市佐和 1468	029-285-0879	㈱小久保造園土木	つくば市小田 2830	029-867-3399
	ひたちなか市長砂 625-2	029-285-3210	(有)古平園	つくば市蓮沼 10	029-864-0777
	笠間市笠間 4358-2	0296-72-5104	小林造園土木(有)	石岡市小幡 295-1	0299-42-3313
=	那珂市本米崎 2702	029-298-1498	(株)坂田園芸	土浦市上坂田 610	029-862-2431
	水戸市小吹町 1555-9	029-244-2700	佐藤造園土木侑 ㈱芝良	つくば市南中妻 750	029-836-0225
	水戸市萱場町 747-2 ひたちなか市高野 48	029-253-3910 029-285-0233	スズキ造園土木(株)	つくば市作谷 3438-7 つくば市寺具 1011-1	029-869-0311 029-869-0500
	水戸市平須町 1846	029-241-0238	第一造園土木(株)	土浦市大岩田 534	029-809-0300 029-821-3708(代)
	水戸市平須町 2-97	029-241-0238	大成造園土木(株)	土浦市西並木 3600	029-822-2311
	那珂市菅谷 605-21	029-298-0575	(株)千代田	かすみがうら市横堀 287	0299-59-4068
	水戸市姫子 1-41-1	029-253-0615	つくば都市緑化㈱	つくば市下別府 489-81	029-847-6439
	久慈郡大子町矢田 910-1	0295-72-0001	土浦造園(株)	土浦市佐野子 1061-1	029-821-3585(代)
	水戸市堀町 2303	029-251-9157	遠野緑地建設㈱	つくば市東光台 1-19-4	029-847-5282
(有)立原緑地土木	水戸市飯島町 554	029-251-5081	常盤造園建設㈱	取手市駒場 4-5-22	0297-73-0551
㈱田寺緑地土木	水戸市吉沼町 965	029-227-3388	㈱トヨシマ総合建設	つくば市上横場 2157-1	029-836-5959
㈱田中造園土木	笠間市箱田 1167-1	0296-72-1027	㈱直井造園土木	つくばみらい市日川 571	0297-52-2600
㈱タナカ築庭	水戸市石川町 2-4074-8	029-253-4128	㈱野堀造園土木	つくば市遠東 254-1	029-847-3678
常磐造園(株)	水戸市酒門町 3218-1	029-248-0081	橋本造園土木㈱	つくば市大角豆 2012-36	029-851-2547
㈱都市緑地サービス	ひたちなか市中根 3646-6	029-273-7662	ヒタチ緑化(株)	つくばみらい市筒戸 103	0297-52-3251
㈱中庭造園土木	那珂市横堀 660	029-298-3291	不二造園土木(株)	土浦市佐野子 655	029-821-5438
(株)日本造園	水戸市見川 5-1251-63	029-229-8840	(有)モリタグリーン工業	生 牛久市牛久町 3318-8	029-872-0336
㈱沼田緑化園	水戸市笠原町 1691-2	029-243-0123	吉岡緑地(株)	龍ヶ崎市田町 3026-6	0297-64-1121
	那珂郡東海村豊岡 466	029-282-2388	吉沼造園土木㈱	つくば市吉沼 2000	029-865-0177
l ` ′	小美玉市小川 1488	0299-58-2002(代)	緑化植産(株)	つくば市若栗 913	029-876-0606
	那珂市堤 302	029-298-7945	(株)若倉	つくば市島名 652	029-847-7397
(株)水庭農園	日立市本宮町 5-8-6	0294-24-3228	<県西支部>	支部長 山口 喜弘	0000 44 5000
(株)水戸グリーンサービス 水戸緑地建設(株)		029-225-2754	(有)アイタ (有)野村浩園土木	下妻市半谷 430-42	0296-44-5296
	水戸市元吉田町 1852-86 東茨城郡茨城町小幡 68-56	029-248-8700 029-292-5787	(制飯村造園土木) 稲芝造園建設(株)	筑西市小川 1724-1 筑西市新治 2003-88	0296-28-0008 0296-57-2045
	東茨城郡茨城町駒場 1802	029-292-2752	(株)岩井造園土木	坂東市大口 2052-1	0297-39-2547
	高萩市下手綱 1485	0293-23-6935	(株)川上造園土木	古河市東山田 1924	0280-78-1312
(株) 吉沢緑化造園	日立市水木町 2-21-12	0294-52-0712	(有)小竹農園	下妻市五箇 201	0296-43-4622
1	水戸市平須町字原山 158-187	029-243-7700	(株)下館造園	筑西市玉戸 1013-39	0296-28-0069
	水戸市堀町 112-3	029-254-8441	常緑工業㈱	常総市中妻町 5192	0297-22-7106
	ひたちなか市佐和 1735	029-285-0306	㈱成美造園	常総市豊岡町乙 1234-18	0297-27-2281
	支部長 山中 廣司		㈱関城造園	筑西市関本肥土 362	0296-37-3195
安藤造園(株)	神栖市矢田部 5806	0479-48-0059	塚田造園建設(株)	桜川市真壁町源法寺 704	0296-55-1587
㈱大賀志造園土木	神栖市石神 439	0299-92-1695	つくばクリーン産業株	下妻市北大宝 257-1	0296-44-2004
大塚造園建設㈱	神栖市筒井 1262-2	0299-92-0530	中嶋産業㈱	結城市小田林 1424	0296-32-8282(代)
大根造園土木	神栖市土合西 2-1-8	0479-48-3678	(有)中田造園	下妻市北大宝 460-2	0296-44-5432
㈱鹿島ガーデン	鹿嶋市宮中 6-6-9	0299-83-3111	(有)中山造園土木	坂東市辺田 955	0297-35-0644
鹿島花壇土木㈱	神栖市柳川 1707	0479-46-0044	山口造園(株)	筑西市倉持 629	0296-52-2350
鹿島庭園(株)	鹿嶋市宮中 1992-1	0299-82-2045	(制 吉原グリーン	下妻市高道祖 2635	0296-43-7122
	行方市四鹿 207-1	0299-73-2006	(株)ワイエスケイ	筑西市乙 836	0296-25-0005
㈱辻田造園建設	鹿嶋市下塙 886-3	0299-82-9097			